

祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

お祈りください

- 1.被災地の方々の叫びと言葉にならない呻きをとりなし、主に繋げるはたらきができますように。
- 2.被災地の方々、支援に関わる方々の心と身体が支えられるように。
- 3.原発事故の収束のために主の助けと知恵が与えられるように。
- 4.福島の子どもの健康が守られるための支援をしていけるように。

忘れないで

2011年3月11日14時46分18秒。宮城県牡鹿半島の東南東沖で地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmのおよそ10万平方キロメートルという広範囲に及び、この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高40.1mにも上る巨大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。また、巨大津波以外にも、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムが決壊などによって、北海道南岸から東北を経て東京湾を含む関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し、各種ライフラインが寸断されました。2013年2月6日時点で、震災による死者・行方不明者は18,578人、建築物の全壊・半壊は合わせて39万7,819戸、ピーク時の避難者は40万人以上、復興庁によると、2013年1月17日時点の避難者等の数は31万6,353人となっています。

東京電力福島第一原発

地震から約1時間後に遡上高14.5mの津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所は、全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、1号機と3号機で炉心溶融(メルトダウン)が発生。水素爆発により原子炉建屋が吹き飛び、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展しました。また、4号機においては、地盤に不等沈下があって、倒壊する危険があると見られている燃料プールに、1535本の使用済み燃料がそのままになっています。今でも原発のある福島県浜通りを中心に、周辺一帯の福島県住民は長期の避難を強いられています。

あの時から、もうすぐ2年が過ぎます。だんだんと東日本大震災関連の放送が減り、震災関連の写真集や、証言集などの本は、東北以外では見受けられなくなってきました。東北の方々は震災を身で体験しています。だから震災の記録集や証言集を見て知ることが必要なのは東北以外の方々です。被災した方々は、まだ一人四畳半の仮設におられます。まだ、娘や夫、妻を探しに出かけていく方々がおられます。瓦礫の山、壊れた家そのままの地域、家の土台だけが残っている野原のように見える場所、道路

横にまだ、小舟が置き去りになっています。福島に關しては、まったく何も見えません。子どもたちの健康被害が予測されます。4号機の燃料棒は取り出せるのでしょうか。不安と焦りが募ります。被災した方々の恐怖。それは「忘れられること」です。知ってください。東北の現状を。まだ復興は始まったばかりです。まだまだ、人々の涙は枯れていません。どうぞあなたの力を貸してください。あなたの祈りの課題に、もう一度、東北の方々へのとりなしを加えてください。支援の働きのために、捧げてください。まだ、支援をやるわけにはいかないのです。よろしくお祈りします。

今年の3・11

現地支援委員会より「2013年3月11日東日本大震災から2年を数えての祈り」の言葉が発信されました。現地の教会と被災地の方々の悲痛な叫び、うめきが聞こえてきます。どうぞお祈りください。東北の教会伝道所では、3・11に近い日にお花を配りに出かけお茶っこを開催いたします。また、3月11日に追悼と黙想の集会を計画していただける地域もあります。ぜひ、慰めの時、痛みをわけていただく時となりますように覚えてお祈りください。

遠野ボランティアセンター 報告

2月13日(15日)東京女子大学より4名の学生を城倉由布子氏(志村教会 東京女子大 宗教主事)が引率してください、大槌町小槌第7、第4仮設で歌声お茶っこ会を開催しました。また、若松教会から送ってくださったチョコと持参してくださったバレンタインチョコを配布してくださいました。遠野も大槌も今年の雪は深く、仮設の方々には外に出にくい状況なのですが、笑顔で談話室に集まってくださり、ゴムバンドを使ってストレッチ体操をしたり、たくさん歌を歌ったり、

とっても楽しいひと時となりました。また、ボランティア最終日は全員で朝から遠野センター



バレンタインチョコの配布

東日本大震災被災地支援委員会原発課題班コラム

原子力発電所と放射能について知っておきたいこと⑨

『ベクレルとシーベルトの換算』

自分が一体、外部被ばく(放射性物質が降り注いだ地面に立つなどして、身体の外から放射線を受けること)と内部被ばく(食べ物や呼吸などによって、身体の中から放射線を受けること)をあわせて、何マイクロシーベルトを浴びているのかをどのようにして知ることができるでしょうか。空間線量の場合は、シーベルトで表示されていますが、食品などによる内部被ばくはベクレルという別の単位で表されるのでわかりにくいものです。もう一つの計算式がベクレルをシーベルトに換算する際に必要です。

放射能には種類があります。核種と言います。その核種ごとに人体に及ぼす影響が異なります。ベクレルからシーベルトに換算するときには、核種ごとに異なる「実行線量計数」(Sv/Bq)をかけ合わせる必要があります。以下の表の右の二つの欄が、その係数です。

核種	半減期	経口摂取(Sv/Bq)	吸入摂取(Sv/Bq)
ヨウ素 131	8.04日	2.2×10 ⁻⁸	7.4×10 ⁻⁹
セシウム 134	2.06年	1.9×10 ⁻⁸	2.0×10 ⁻⁸
セシウム 137	30.0年	1.3×10 ⁻⁸	3.9×10 ⁻⁸
プルトニウム 239	2.41万年	2.5×10 ⁻⁷	1.2×10 ⁻⁴
ストロンチウム 90	29.1年	2.8×10 ⁻⁸	1.6×10 ⁻⁷

例えばホウレンソウ 1kg にヨウ素 131 が 2000 ベクレル(Bq) があるとします。これを 2000Bq/Kg と表わします。これを全部食べたとしたら何シーベルトの被ばくかを知るためには、上表のヨウ素 131 の経口摂取欄にある「2.2×10⁻⁸」をかけます。

$$2000 \text{ Bq/kg} \times 2.2 \times 10^{-8} \text{ Sv/Bq} = 0.000044 \text{ Sv/kg}$$

Sv/kg は 1kg 当たりのシーベルトです。これは mSv や μSv で表すと以下ようになります。

$$0.000044 \text{ Sv/kg} = 0.044 \text{ mSv/kg} = 44 \text{ } \mu\text{Sv/kg}$$

このように実際に何グラム食べたかを勘定に入ればその食品による被ばくが分かります。セシウム 134 はもうじき半減期をむかえます。ただし東日本委員会の機械を含む多くの市民計測所の機械で実数は計測できないストロンチウムの存在など、残念ながらまだ予断を許さない状況が続きます。それでも、できる予防を続けましょう。東日本委員会では、ヨウ素、セシウム(134 と 137) に関して計測をしています。ご希望の方はお問い合わせください(048-813-7567 宣教研究所)

原発課題班 濱野道雄



歌声お茶っこ会



ゴムバンドでストレッチ

の雪かきをしてくださって、あつという間に雪の山が出現。みんなの力が集まる時にできる大きな働きを間近に見せていただきました。雪かきの終わった庭を眺めながら、それはいつか全国の祈りと捧げもの。そして一緒に働いてくださる支援活動が復興の働きにつながり、実を結ぶ時がくることを見せたいだいたい思いました。

さて、大槌町役場を通して談話室のない複数の仮設団地より外でお茶っこ開催のための「テーブル&ベンチ」を寄贈してほしいとの申し出がありました。なんとか悲しみも喜びも一緒に分かち合える場づくりのお手伝いをさせていただきたいと願っております。春を待って「テーブル&ベンチプロジェクト」が動き出す予定です。

(現地支援担当・金子千嘉世)

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

◇2012年度目標額	2000万円	◇4月~2013年1月支援募金額	14,673,054円
		(内訳)国内分	11,963,706円
		(内訳)国外分	2,709,348円

上記の他に指定(主に海外から)募金15,211,426円があり、指定された用途に用いられます。

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先:郵便振替00140-9-180881 宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。